施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（番号）			096	～	097	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	A	①	交通政策課/建設政策課
097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	A	①	交通政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	コミュニティバスについては運行事業者や利用者の意見を反映しながら停留所の新設やダイヤ変更等を行ったほか、伊勢鉄道の施設整備に対する支援や津駅西口駅前広場の再整備に向けたエリアマネジメント会議の開催等を通じて、効率的で利便性の高い地域公共交通網の整備に向けた取組が進みました。海上アクセス航路については、本市から運航事業者に対する支援により、運航事業を継続することができ、効率的かつ安全性の確保に留意した適正な管理運営につなげました。これらにより公共交通の充実に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930096
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和7年9月）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画		実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点		事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）		今後の方向性	
096-1	交通政策関係事業	交通政策課	コミュニティ交通システムの整備	効	公共交通を維持することで、市民の日常生活に必要な移動手段を確保することができる	◆	津市コミュニティバス等の運行による日常生活の移動手段の確保	◎	津市コミュニティバスにおいて、運行事業者や利用者の意見を反映しながら、停留所の新設やダイヤ変更等を行ったことで、利便性の向上を図りながら運行することができたため実施評価は「◎」とした。（利用者数：69,826人）コミュニティバスを利用できない地域から路線延伸の要望や現在の運行の課題となるご意見をいただいており、今後も引き続き、地域住民の声をしっかりと聴きながら、より利便性の高い交通システムの構築に取り組む。
				誰	市民	◇	一般路線バス等の利用者数	○	
				何	買物や通院等日常生活に必要な移動が可能となる	231,675（千円）		拡充・充実	
096-2	伊勢鉄道支援事業	交通政策課	伊勢鉄道の施設設備の整備に対する支援	効	施設設備の整備に対する支援を県と沿線等15市町で行うことで、伊勢鉄道株式会社が安全運行を確保し、自律的経営を継続することができる	◆	施設設備の整備に対する支援の実施	◎	令和5年度はまくらぎ改良やのり面の改良等に対して「三重県地域交通体系整備基金」から81,561千円を支援した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により取り崩した基金を令和3年1月に締結した「新型コロナウイルス感染症の影響による伊勢鉄道株式会社への支援に関する覚書」の内容通り支援するための予算を令和6年度に確保することができたことから「◎」とした。 今後も伊勢鉄道が安全運行を確保し、自律的経営を継続できるよう必要に応じて支援していく。
				誰	伊勢鉄道株式会社	◇	県と沿線等15市町で実施した支援額	◎	
				何	安全運行と自律的経営の継続	0（千円）		現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

096-3	津駅西口駅前広場再整備事業	津駅西口駅前広場の再整備	効	津駅西口駅前広場の再整備により、交通の最適化等が図られる。	◆	津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議開催による津駅西口駅前広場の基本方針及び基本構想の策定に向けた協議	◎	津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議を予定回数開催して関係者に共有し、協議を行うことができたため「◎」とした。 今後も津駅周辺エリアの再整備に向けて、より効果的な事業となるよう取り組んでいく。
			誰	市内外の人々	◇	会議開催　計3回 4部会開催　各2回	◎	
	建設政策課		何	津駅周辺道路空間の安全性、快適性向上による地区の魅力の向上	3,466（千円）	拡充・充実		
096-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		（千円）			
096-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		（千円）			
096-6			効		◆			
			誰		◇			
			何		（千円）			

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上）　○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満）　△=計画を下回った（50%以上～80%未満）　×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる　○=ある程度の効果が認められる　△=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない　×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930097
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和7年9月）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画		実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点		事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）		今後の方向性	
097-1	津なぎさまち管理運営事業	交通政策課	航路の維持向上	効	指定管理者制度により、津なぎさまち内旅客船ターミナルの効率的で、安全性の確保に留意した適正な管理運営を行うことで、安定的な施設の提供ができる。	◆	指定管理者による適正な管理運営の実施及び海上アクセスルートの運航継続及び運航便数の増便	◎	指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行うことで、安定的な施設の提供をすることができたこと、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して運航事業者へ支援することにより、海上アクセスルートの運航事業の継続をすることができたこと、また、運航便数が増便されたことから「◎」とした。（7往復14便から最大11往復22便に） 今後においても施設の適正な維持管理を行うとともに、運航事業者に対して運航便数の増加を要望する。
				誰	施設利用者	◇	指定管理者による適正な修繕等の実施、海上アクセス運航事業の継続及び運航便数の増便	◎	
				何	施設の安全安心な利用をすることができる 短時間で津なぎさまちから中部国際空港までを往来することができる	90,529（千円）		拡充・充実	
097-2	伊勢湾ヘリポート管理運営事業	交通政策課	ヘリポートの活用	効	指定管理者制度により、津市伊勢湾ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができる	◆	指定管理者による適正な管理運営の実施	◎	指定管理者制度による施設の効率的で安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができたので「◎」とした。 今後も引き続き、効率的で安全性の確保に留意した適正な施設の管理運営を行う。
				誰	航空交通事業者	◇	指定管理者による適正な修繕等の実施及び安全指標の達成	◎	
				何	ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う	1,371（千円）		現状維持	
097-3				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			

施策の内容評価シート（令和5年度分）

097-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
097-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
097-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
097-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
097-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.